

製品名: IL-1F7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12521**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

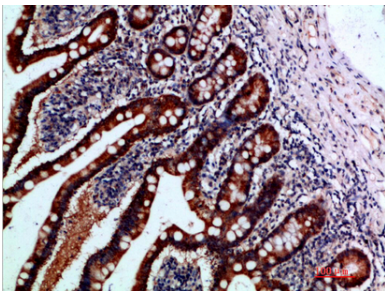
遺伝子名	IL37 Interleukin-37 (FIL1 zeta; IL-1X; Interleukin-1 family member 7; IL-1F7; Interleukin-1 homolog 4; IL-1H; IL-1H4; Interleukin-1 zeta; IL-1 zeta; Interleukin-1-related protein; IL-1RP1; Interleukin-23; IL-37)
別名	
遺伝子 ID	27178.0
SwissProt ID	Q9NZH6
免疫原	アミノ酸配列範囲: 101~150 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

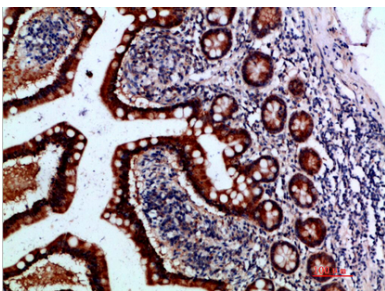
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン1サイトカインファミリーのメンバーです。このサイトカインはインターロイキン18受容体 (IL18R1/IL-1Rrp) に結合し、リガンドとなる可能性があります。また、このサイトカインはインターロイキン18 (IL18) の阻害結合タンパク質であるインターロイキン18結合タンパク質 (IL18BP) にも結合し、その後IL18受容体βサブユニットと複合体を形成し、IL18の活性を阻害します。この遺伝子は、他の8つのインターロイキン1ファミリー遺伝子とともに、2番染色体上にサイトカイン遺伝子クラスターを形成します。異なるアイソフォームをコードする5つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq提供、2008年7月]、機能: インターロイキン18受容体 (IL-18R) に結合しますが、IL-1受容体には結合しません。IL-18/IL-18R経路を介した炎症および免疫応答における新たな役割を担う可能性がある。誘導: 様々な細胞株においてホルボールエステル (PMA) によって誘導される。その他: ここに示す配列は、EMBL/GenBank/DBJのサードパーティアノテーション (TPA) エントリから取得されたものである。オンライン情報: インターロイキン-1 (IL-1) エントリ、類似性: IL-1ファミリーに属する。組織特異性: アイソフォームA、アイソフォームB、アイソフォームCは、精巣、結腸、胎盤、肺、リンパ節で発現する。アイソフォームDとアイソフォームEは、精巣と骨髄でのみ認められる。一方、脳ではアイソフォームAのみ、腎臓ではアイソフォームBのみ、心臓ではアイソフォームCのみ認められる。、

研究分野

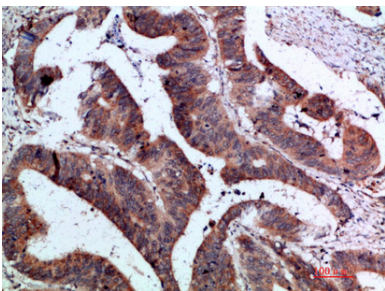
画像データ



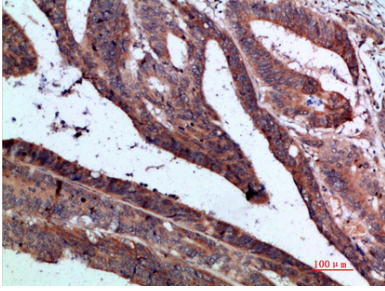
パラフィン包埋ヒト小腸の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された。



パラフィン包埋ヒト小腸の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された。



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された